

# おお大勝利

平成 23 年度山東サッカー部報第 7 号 (5 月 31 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

## 県総体 初戦 手堅く勝利

5 月 28 日(土)から始まった今年の県総体(主会場は鶴岡市)。28 日は午前に関会式、監督主将会議が小真木原運動公園で行われ、午後から一回戦スタート。28 日は山東の対戦相手となる米沢工業 楯岡戦などを観戦。又マシンこと名将大沼晋先生率いる楯岡高校は、序盤、テクニカルなボランチの選手が中盤でアクセントをつけつつ、ドリブラーの FW がフィニッシュまで持っていく展開で攻勢に出る。米工は県新人で 3 位になり東北新人大会に出場したチームであり、楯岡がその米工を破るかと思わせる前半の勢いでしたが、ロングボールから米工が流れを引き寄せ、先制。そのまま後半も一点加え、結局 2 - 0 で米工の勝利。これで米工とは、去年の秋の県新人、選手権で対戦し、そして春、県総体でまた相まみえることとなりました。米工からすれば「三度目の正直」(山東サッカーOB 会 HP 管理人後藤報道局長)であり、気合を入れてぶつかってくるのが予想されました。

29 日(日) 場所は鶴岡中央高校グラウンド。昨晚からの雨で多少グラウンドには水たまりができていましたが、問題なくボールは転がるレベル。逆にグラウンドの質が硬すぎると聞いていただけに、程良く散水され、丁度良いといったところか。卒業したての二人の OB、インテルこと琢己と在学中から髭がトレードマークだった? 元主将孝祐とが応援に訪れてくれている。学校からは大沼敏美教頭(元山東サッカー部顧問)はじめ応援団幹部(チアを含む)が応援に駆け付けてくれており、決戦の雰囲気はばっちり。

キックオフと同時に山東の攻撃が米工ゴールに向かって繰り広げられる。特に FW の調子が良いように感じられ、あとは得点を待つばかり、といった立ち上がり。しかし、惜しいシュートが続くものの、最後の最後の米工ディフェンスの粘りもあり、なかなかゴールを割ることができない。攻勢に出ながらなかなか得点が入らない展開というのは、往々にして逆襲からあっけなく失点してしまうもの。米工はカウンターからの逆襲にツートップが備えて高い位置を取り続けており、山東としては攻めている時に守備の集中を切らしてはいけない。こんなイヤ～な雰囲気が漂い始めた前半 25 分ごろ、CK からのドサクサを FW カルが左足のボレーで豪快にたたき込み、山東、待望の先制! カルのボレーはゴールの目の前ただけに、強く叩けば良いだけで一見簡単なようですが、ボールが急角度で上に上がるいわゆる「宇宙開発」シュートにならないために、やはり足をかぶせた使い方(足を上方向から下方向に振る使い方)をしなければいけない訳で、利き足と逆足でこれができるのはやはり練習の賜物。前半 1 - 0 で折り返す。

待望の先制点を入れただけに、ハーフタイムの選手の表情は決して悪くはない。しかし、まだ 1 - 0 でしかなく、安心はできない。何が起こっても動じることなく、最後まで

であきらめずに戦う残り35分にすることを意思統一してピッチに送り出しました。

後半も山東の攻勢が続く。ただし前半よりも球際で米工が頑張るシーンが多くなり、ルーズボールの競り合いで後手を踏むことが多くなる。高く上がったボールを米工の選手がフリーでヘディングしたり、どちらも競らずにバウンドしてしまうシーンが出現し、山東の甘さ(課題)も明らかになる後半。ただ、米工の攻撃はいずれも散發的で、またカウンターで焦り気味なものだから米工のシュートはいずれもロングシュート(ミドルシュート)の位置から放たれるものばかりで、決定機を作られているという訳ではない。そんなあいまいな雰囲気の中、右サイドから繰り返し攻撃し、そこで得た何度目かのCKにて、シマヌキの左足から放たれたライナー性の放物線はゴール中央に突進してきた一年 CDF ウスバの頭にドンピシャ、米工ゴールネットを再度揺らし、これでやっと2 - 0、胸をなでおろす。その後は、山東の中途半端な攻撃と守備を米工に付け込まれ、押し込まれるシーンが多くなるも、GK ヤスのファインセーブもあり、無失点に抑える。最後は今季公式戦初出場の3年ユウトも途中出場からピッチで躍動し、2 - 0での山東の勝利に貢献。ユウトは中学校では卓球部に所属、派手な選手ではないですが、自分の負った責任は精一杯果たそうとする職人のような選手であり、一緒にチームを組んでいて清々しい。そんな選手が勝利に貢献して素直にうれしい。

2 - 0の勝利となり、3回戦に進むことができた山東。この大会を最後の大会にしている者の多い3年生にとって、この勝利は高校サッカー生活に終止符を打たれずに済んだという意味がある。まだやれる喜びに安堵しています。実は前回鶴岡会場だった大会では、初戦で鶴東に敗れ、5年前、現在一年生にいるコテッチャンの兄の直哉たちは即引退を迫られ、学校の壮行式にも出場できなかったという辛い過去があります。鶴岡会場ということもあり、そんな過去も頭をよぎったのですが、とりあえずホッとしています。遠くまで多数のOBの皆さま、保護者の皆さまが応援に駆け付けて下さいました。博愛君のご家庭からは応援の差し入れを頂戴いたしました。ありがとうございました。

次戦の相手はやはり羽黒高校となりました。目標実現のためには越えなければいけない壁です。一戦必勝、6月3日に集中します。応援よろしくお願ひします。

6月3日(金) 県総体準々決勝 VS 羽黒 11:00 ~ @小真木原陸上競技場

勝てば

6月4日(土) 県総体準決勝 VS 東海と鶴東の勝者 11:00 ~ @同上

勝てば

6月5日(日) 県総体決勝 VS 日大、山形中央、鶴工、明新館の勝者 11:00 ~ @同上